

<大会概要>

期間：2024年7月13日～7月20日

会場：アメリカ合衆国オクラホマ州タルサ

区分：Major

<結果>

ジュニア部門32位タイ（セミファイナル進出）


<サイドイベント>

ダブルス：1位

ロングドライブ：31位


パッティング：39位

スキルショット：23位




Divisional Doubles at 2024 Junior Worlds - MJ18 & MJ15 Only

Tulsa, Oklahoma Sunday, Jul 14, 2024 Blackhawk



Kyle Kriekhaus
Durango, CO
#154511 986




Kenta Aranami
Bunkyo Ku, 13, JP
#161040 984

PLACE: 1st (MJ18) SCORE: -14


ROUND 1 Blackhawk Blackhawk - MJ18 & MJ15 18

Tot	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
8045	270	550	460	515	560	270	310	360	390	415	285	575	340	900	360	280	630	575
63	3	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	3	3	4	4	3	3	4
49	2	3	3	3	3	2	2	2	2	4	2	3	3	5	2	2	3	3



2024 PDGA Junior Disc Golf World Championships

Tulsa, Oklahoma Jul 16-20, 2024 POSTOAK Lodge and Retreat, Blackhawk, Haikey Creek Park



Kenta Aranami
Bunkyo Ku, 13, JP
#161040 984

PLACE: T-32nd (MJ18) SCORE: -17 EVENT: 957

ROUND 1 POSTOAK Lodge and Retreat Post Oak 18

Tot	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
6610	550	290	450	410	420	290	300	360	520	400	290	200	230	500	575	250	350	225	
61	4	3	4	3	4	3	3	3	4	4	3	3	3	4	4	3	3	3	
920	61	5	3	3	3	4	3	3	4	5	4	3	3	2	3	5	2	2	4

ROUND 2 Blackhawk BlackHawk Rd2 18

Tot	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
8045	270	550	460	515	560	270	310	360	390	415	285	575	340	900	360	280	630	575	
63	3	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	3	3	5	3	3	4	4	
992	58	3	4	3	4	3	3	3	2	3	3	2	6	2	5	2	3	3	4

ROUND 3 POSTOAK Lodge and Retreat Post Oak 18

Tot	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
6610	550	290	450	410	420	290	300	360	520	400	290	200	230	500	575	250	350	225
61	4	3	4	3	4	3	3	3	4	4	3	3	3	4	4	3	3	3
996	53	3	2	2	3	3	3	3	3	5	2	3	2	4	4	2	3	4

ROUND 4 Haikey Creek Park Haikey Creek 18

Tot	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
8220	635	360	685	410	425	525	670	445	380	480	230	325	265	355	580	605	280	565
63	4	3	4	3	3	4	4	4	3	4	3	3	3	3	4	4	3	4
952	59	4	3	3	3	5	4	2	3	5	2	3	3	3	4	3	2	4

SEMIS Blackhawk BlackHawk 18

Tot	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
8045	270	550	460	515	560	270	310	360	390	415	285	575	340	900	360	280	630	575
63	3	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3	5	3	3	4	4
927	63	3	4	3	3	4	3	3	4	4	3	3	3	5	2	3	5	5

<概要>

昨年に引き続いて、PDGAジュニア世界選手権に参加してきました。木曜日の夜に現地入りし、金曜日に練習してから、土曜日のロングドライブ、パッティング、スキルショットに出場し、日曜日はダブルスに出場しました。ダブルスでは優勝することができました。その後月曜日に練習をして、火曜日から4日間で4ラウンドと、土曜日の準決勝1ラウンドを戦うことができました。結果は32位と昨年度（41位）よりは順位を上げることができました。目標としていた決勝には残れず悔しい結果になりましたが、昨年会った同年代の選手が覚えてくれていて、楽しくプレーすることができました。来年最後のチャンスがあるので、できれば挑戦したいと思っています。

<謝辞>

今回の大会参加にあたり、道具、ユニフォーム、遠征費の補助をいただいたクラブジュニア様、クラウドファンディングや直接に遠征費の援助を頂いた多くの皆様、クラウドファンディングを企画して下さいました Disc Golf Navi の皆様、SNS で応援して下さいました全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

<7/12 金曜日 練習日>

・今回の遠征は妹も参加していたので、妹が本戦で回るTwin Bridgesというコースをはじめに回って、その後、僕が回るPost Oakというコースで練習をしました。妹とは別行動だったので、1人で回ろうかと思ったのですが、多くの人が練習できるようにということで、知らない人とグループになって回るようになりました。めちゃくちゃフレンドリーな奴らばかりで、そんなに上手ではなかったですが、楽しかったです。あと、何故か英語を褒めてもらいました。Post Oakはディスクゴルフ専用コースなのですが、普通のゴルフ場みたいなしっかりしたクラブハウスがありました。期間中、35℃を超える日が多かったので、冷房が効いているクラブハウスは助かりました。



<7/13 土曜日 フィールドイベント>

まだかなり時差ぼけも残る中、暑い中で頑張れたと思います。結果は残すことはできませんでしたが、やれることはやったと思います。スキルショットのときの周りの選手のローラーの上手さには驚きました。僕も練習したいと思います。何故かちびっこにたくさん話しかけられて、ディスタンスの時は投げ方かっこいいね！みたいなのをたくさん言われて、驚きました。ディスタンスで一番飛んだディスクはOBでした。



↑パッティング
←ディスタンス

スキルショット↓



<7/14 日曜日 ダブルス>

出場希望選手が増えたからか、去年と違って今年は1ラウンドでの戦いでした。コースはBlack Hawkという林間が多いコースでした。去年と同じく、香港からこの夏にアメリカに戻ったKyle君と組んで出場しました。緊張もなく、一緒にラウンドしてくれた選手のおかげでとても快適にラウンドできた日でした。全体的にもものすごく調子が良い日で、パットを外した記憶もミスショットをした記憶もないくらいほぼ完璧な出来でした。自分の中で、体の動き方が噛み合っていて多少の左右のズレはありながらも、スムーズに投げることができていたので、あれだけのスコアが出たのかなという気がします。パートナーのKyle君もとても上手くプレーし僕のミスをカバーしてくれたおかげで優勝することができました。



Kyle君との記念撮影



ダブルス16番のティーショット

<7/15 月曜日 練習日>

この日はBlack Hawkというコースと、Haikey Creekというコースを練習しました。妹とは別行動でしたが、ちょうどスケジュールが合ったKyle君と一緒に練習しました。Kyle君のお父さんにはホテルまで送ってもらい、すごく助かりました。



↑Blackhawkの9番ホール



↑トーナメントで使っていなかったため、アップでよく使ったコース。広くて快適でした。

<7/16 火曜日 大会1日目>

コースは林間が多い Post Oak でした。今年は去年と違って、予選は1日目から4日目まで毎日ティータイムスタートで1日1ラウンドになりました。

ダブルスの日とは打って変わってとても緊張した日でした。フィーチャーカードに今年も入れてもらったのでYoutubeのカバレッジに映ったり、今年は父が妹と一緒に僕とは別行動だったので、周りがみんなが英語で話しているいつものとは違う環境だったりしたのと、昨年の雪辱を果たしてやろうという気持ちがすごく大きかったため、その裏返しで、とても緊張したのかなと思います。そのせいか、体が上手く動かずパットもショットも自分の中で噛み合うことなくラウンドが終わってしまいました。自分がうまくいかない中、周りが上手く投げていることで焦りを感じてしまっていた部分もあって、取り返そうという気持ちがここまで一日目のスコアを悪くさせた原因だと感じています。結果論になってしまいましたが、もし1日目があと少しでも上手く投げられれば、決勝に行ける可能性もあったのではないかなという感じがします。1日目が終わった後はかなりの悲壮感がありましたが、その後、フライマーケットに行ってそこでパトリック君にあって、投げに行かない？と誘ってもらい、少し一緒に投げました。彼に会うことができ、気持ちを少し切り替えることができました。

<7/17 水曜日 大会2日目>

1日目にかかなりショックを受けながらも、今のままだと準決勝にも残れないし、去年以下の成績を取ってしまうことに危機感を覚えて、切り替えができた状態で臨めたのは良かったです。ラウンドでは、1日目とは違う疲労感があって、ディスクが全て左方向に飛んでいってしまいました。ラウンド中に改善することはできずに、終わってしまいました。非常に悔しかったですし、自分にかかなり腹が立っていた日はこの日かもしれません。それでも、この日は運に恵まれて、少し順位を上げて終わることができました。ここまで上手くいかないことがあるのかという気持ちはありましたが、1回全てを忘れて休むことにしました。



<7/18 木曜日 大会3日目>

1日目に回ったのと同じPost Oakで、すごく嫌なイメージが残っていました。この日は、運が良くなかったですが、それでも-8で回ることができました。1日目の反省をいかして、焦らずに自分のできるショットを積み重ねて、取れるところはしっかりと取り切ったことが結果につながったと思います。特に前半は周りが引くくらい上手くなりました。後半はすごくアンラッキーなことが多くて、全くスコアを伸ばすことはできなかったのですが、あそこで耐えたのは今後のディスクゴルフ人生に生きてくると感じています。一番大きく順位を上げることができたのはこの日でした。



ラウンドメンバーの中で、ものすごく早口で話す人がいて、何を言ってるか全く分からずに何回も聞き直してしまったので、もっと英語を学んでいかないといけないなと実感させられた日でもありました。

<7/19 金曜日 第4ラウンド>

Haikey Creek で、今年アメリカに来て初めて回る、障害物が少なくてただただ長いコースでした。調子は悪くなかったと思いますが、長いコースをしっかりと取り切るのは難しく、スコアを伸ばすことはできませんでした。日本でプレーしているとなかなかない、バーディーパットの距離残り方が嫌な感じで、決めきれないことが多かったです。それを連続で外した時のメンタルの保ち方が凄く難しく、苦戦してしまいました。去年1ラウンド目に一緒に回った、**Conor** という選手と一緒に回ったのですが、彼は2年連続ロングドライブのチャンピオン（去年も今年も700フィート以上）で、飛距離の違いかなりビビりました。このような何もないコースでは、いかに飛距離が正義かを思い知らされました。彼は400フィートを平気でミッドレンジで投げてました。僕は日本では飛ぶ方だと思いましたが、彼のおかげで、自分の飛距離に天狗にならずに、日本に帰ったら練習しようと思いました。



<7/18 土曜日 準決勝>

今年も準決勝には残ることができたので、土曜日のラウンドを回ることができました。アメリカ最後の日でした。ショットガンでしたが、まさかの8:00スタートで、すごく朝が早かったです。アップが中途半端になってしまっていたのか、1投目にお気に入りのディスクをロストしてしまい、かなりメンタルがやられてしまいました。自分でも何をしたら上手くいくのか分からなかったし、こんなに朝早くから試合で投げた経験もなかったので、戸惑ってしまいました。それでも、応戦してくださっている皆さんのおかげで、最後のラウンドは投げ切りたいという気持ちで、なんとかイーブンパーで回ることはできました。結果には全く満足できませんでしたが、これも自分の実力なので受け止めて、日本でまた練習を積み重ねていかないといけないと感じさせられた5日目でした。

準決勝が終わった後は、イギリスで開かれるアルティメットのジュニア世界選手権に参加するため、そのまま空港に連れて行ってもらい、ここからは1人でイギリスへ向かいました。



<全体を通して>

去年と違って1日目の結果がすごく悪かったのですが、今年も日本の皆さんからすごく応援をいただいたおかげで、最後まで諦めることなくラウンドし、去年よりいい順位でフィニッシュすることができました。ありがとうございました。それから、今年は妹も一緒に参加したため父が別行動だったので、Kyle君の両親が5日間僕のキャディーをしてくれました。妹とはティータイムも会場も違うため、何度かホテルへの送り迎えもしてもらいました。とても感謝しています。今回もアメリカ遠征がいい思い出になっているのは、英語がまだまだ上手くない僕に対しても優しく接してくれるPatrick君やKyle君をはじめ、一緒に回った選手のおかげだと思います。一年振りでも僕のことを覚えていてくれて、親切にしてくれる彼らにはとても感謝しています



今年は、この大会の後にアルティメットの世界選手権に参加する関係で、日本→アメリカ→イギリス→日本と20日間の旅になりました。飛行機のチケットの関係で、飛行機に乗るのは全部1人で移動することになり、アメリカとイギリスでの入国審査、イギリスで空港からチームに合流するまでなど、ちょっと不安でしたがなんとか乗り切ることができ、貴重な経験になりました。



Kyle君のお父さんが僕のバッグを背負ってくれました。

最後に、改めて、クラウドファンディングでご支援いただいた皆様、リアルタイムで応援いただいた皆様、本当にありがとうございました。



Chadwick選手に教えてもらったメキシカン

<食事面>

・食事面は去年の経験があったので、アメリカ滞在中は、日本から持って行ったパックご飯やカップうどん、スーパーで調達した材料で作ったサンドイッチ、スーパーで買ったカップ麺やマクドナルドで口に合うものを食べることができました。マクドナルドやChadwick選手に教えてもらったメキシカン料理のテイクアウトも美味しくて、1回だけ行ったステーキハウスはめっちゃ美味しかったです。ただ、イギリスに行ってからあまり食事が合わず、日本に帰ってきてから食事が美味しく感じました。

